

## 2006.6.1 《出生率過去最低の1.25》

厚生労働省の人口動態統計で、一人の女性が生涯に産む子供の数の推定値である「合計特殊出生率」が、過去最低の1.25（昨年1.29）である事が分かった。

北海道は全国三番目に低い1.13（昨年1.19）であり、少子化傾向に歯止めをかける取り組みが急務といえる。

昨年生まれた赤ちゃんの出生数は約106万3000人。出生数から死亡数を引いた「自然増加数」はマイナス21000人（統計を取り始めた明治32年以来初の減少）。

人口減少は、社会保障制度や労働力確保に影響が出ることが間違いなく、人口減少社会に向けた確たる取り組みが、真剣に構築する事が求められるといえよう。